2020 年度事業計画

自 2020年4月1日 至 2021年3月31日

I. 2020 年度基本方針

年初来の新型コロナウイルス感染症の拡大は、4月7日の緊急事態宣言の発出にまで至り、国民生活と経済の先行きに深刻な不安をもたらしている。現在国をあげて懸命の努力がなされており、事態の一刻も早い収束が待たれるが、この間も人口の減少と少子高齢化、デジタル技術の進展、ライフスタイルと消費行動の変移など、SCを取り巻く大きな潮流変化は進行しており、これに対応して新たな時代に向けた成長を図るための取組みもまた着実に進めなければならない。

このような観点から、2020年度は、新型コロナウイルス感染症問題への緊急的な対応を行うとともに、新中期運営計画の初年度として、SCの持続的な成長に向けた環境づくりのための諸事業の強化、推進に努めるものとする。

- 1. 新型コロナウイルス対応については、国や会員の取組み情報の迅速な提供・共有、公的支援策活用の呼びかけ、関係団体と協調した政策要望等のほか、今回の教訓を踏まえ事業者として留意すべき点の検討を行うなど、 適時適切な会員支援に努める。
- 2. 同時に、中長期的な潮流変化を踏まえSCの持続的な成長に資するような事業内容の充実を図り、その推進に 努める。

(1)会員ニーズへの対応強化

会員ニーズの多様な課題意識に即した内容により、会員相互のネットワーク作りや問題意識に直結する事業の企画・推進を図る。また、その提供方法等も WEB 等によるリモートサービスなど多様化を図り、会員の利便の向上に努める。

(2)変化を捉えた人材育成

人材育成については、目まぐるしいマーケット変化を捉えたセミナーを引き続き実施するほか、時代潮流に視点を置いたセミナーや SC で利活用できるICTの紹介など幅広く取り込んでいく。また、WEBや動画配信などさまざまなツールを用い、会員ニーズに沿った受講機会を創出し、受講者拡大を推し進める。

(3)人手不足への対応

人手不足に対応可能な清掃ロボットや棚卸業務の合理化など、SC 内で役立つICTなどの研究や情報収集に取組み、テナント企業の生産性向上や環境作り等の働きやすさの一助になる事例紹介等を図る。引き続き、「ショッピングセンターにおけるES宣言・行動指針」基づき、ES向上などの情報収集と提供に努める。

(4) テクノロジーの実装化支援

多様な会員のビジネスに役立つ新技術紹介やその評価、導入に伴う課題などについて、体制を整え、検討、研究に取組むほか、そのアウトプットを様々な媒体や、月刊誌や SC ビジネスフェア等を通じて情報提供に努める。

(5) 社会活動の推進

企業の社会的責任の一層の高まりを受け、SDGs をエンジンとした災害、地域連携、環境、まちづくりなどの様々なSCを取り巻く社会的課題への取組みを推進する。また、時代変化に沿ったSCの地域貢献、社会的役割を多方面に向け、さまざまなツールを使い、PR強化に取組み、SCへの理解を深めてもらう活動を行う。

3. なお、これらの事業は新型コロナウイルス感染症問題の先行きが極めて不透明なことを鑑み、事態の状況に応じ必要な調整を加えつつ弾力的に実施する。

厳しい環境ではあるが、会員数は概ね950社程度を予定する。

Ⅱ. 会議

1. 総会

第48回定期総会(2020年5月27日予定)

2. 理事会

第1回理事会(2020年4月23日予定) ※緊急事態宣言の発出を受けて中止とし、みなし決議にて行う。 第2回理事会(2020年10月23日予定)

3. 企画会議

第1回企画会議(2020年10月中旬予定) 第2回企画会議(2021年3月中旬予定)

Ⅲ. 支部活動計画

支部名	活動計画
北海道支部	(1)支部総会・懇親会(2021年2月下旬~3月)(2)運営委員会(7月~9月)(3)SC 接客ロールプレイングコンテスト北海道大会(10月30日/サンピアザ劇場)(4)支部主催セミナー

	(1) 交流·研鑽
	・秋の研修会・懇親会(10月中旬~下旬)
	・春の研修会・懇親会(3月上旬 支部総会と同時開催、ホテルメトロポリタン仙台)
╧╜╸╧╌╇╖	(2) SC接客ロールプレイングコンテスト東北大会(9月29日・30日、ホテルメトロポリタン仙台)
東北支部	(3) 支部総会(2021年3月上旬、ホテルメトロポリタン仙台)
	(4) 支部運営委員会(7月、10月、3月)
	(5) その他
	防災関連の情報発信(例. 全国大会SCビジネスフェア 2021 でのパネル展示等)

	(1)支部総会・講演会・懇親会(2021年2月下旬~3月上旬)			
	(2)運営委員会(6月、12月)			
関東•甲信	(3)SC 接客ロールプレイングコンテスト関東・甲信越大会			
越支部	①関東・甲信越大会・・・ 9月1日~4日、9月7日・8日/ムーブホール(ムーブ町屋)			
- 越又司	②東京大会・・・ 10月5日~9日/ムーブホール(ムーブ町屋)			
	(4) 単館 SC 研究会(年間 3~4 回)			
	(5)支部主催研修会(年間 3~4回)			

	(1)支部総会・講演会・懇親会 (2021年3月)
	(2)運営委員会(7月、12月、2021年3月)
中部支部	(3)接客ロールプレイングコンテスト中部大会(11月4日~6日・名古屋市中小企業振興会館
	メインホール)
	(4) 支部主催セミナー(7 月)

	(1)支部総会・SC フォーラム (2021 年 3 月)
	(2)運営委員会(7月27日、12月7日)
、	(3) SC 研究会セミナー<研修会・仮>(6月、9月、11月)
近畿支部	(4) SC 研究会<事務局会議·仮> (6 月、8 月、12 月)
	(5) 単館 SC 交流会(5月、7月、11月、2月)
	(6)接客ロールプレイングコンテスト近畿大会(10月13日~16日)

(1) 支部総会・記念講演会・懇親会 2021 年(2~3 月) テーマ・講師・会場 未定(2) 運営委員会(7~8 月、11~12 月、2021 年 2~3 月)

中国•四国 支部

(3) 支部主催研修会(11月~12月) テーマ・講師・会場 未定 ※今年度延期となった、記念講演、懇親会(6月~8月)

(4) 第 26 回 SC 接客ロールプレイングコンテスト中国・四国大会 日程:11月 25日(水)~27日(金) ※3日間開催予定

会場:「広島YMCAホール」

(1) 支部総会・講演会・懇親会(2021年2月)

九州•沖縄

(2)運営委員会(9~10月)

支部

(3) セミナー・研修会および交流会(秋)

(4)SC接客ロールプレイングコンテスト九州・沖縄大会(10月20日~21日・JR 博多シティ)

※SC 接客ロールプレイングコンテスト支部大会は、第 1 回理事会議案のみなし決議後に、新型コロナウイルス感染拡大の観点から、今年度は中止させていただくことになりました。

IV. 委員会事業計画

1. 総務・会員委員会

1. 2020 年度 基本方針

- (1) 会員サービスの向上につねに努め会員数 950 社程度を予定する
- (2) 人材確保対策への取組みの推進
- (3) 2020 中期運営計画(2020~23 年度)の進捗状況の把握
- (4) 支部、委員会、SC 経営士会の各事業の進捗状況の把握及び総合調整
- (5) 2020 年度予実算管理の徹底
- (6) 新型コロナウイルスに係る対応及びそれに伴う協会事業の調整

【人材確保対策特別委員会】

- 1. 人材確保・ES向上に関する2020年度の取り組み
 - (1)SC 接客ロールプレイングコンテストの大賞受賞者の事例発信
 - (2)月刊誌での ES 事例の発信
 - (3)ES 特設ページでの ES 事例の発信
 - (4)各委員会・各支部に ES に関する働きかけ
 - →人材確保対策セミナーの開催など
 - (5)生産性向上(テクノロジー等)に関する講演開催
- (6)テナント企業の ES 取組み発信
 - ・テナント企業の生産性向上、ES 向上、モチベーションアップなどの好事例を発信
 - ・テナント企業のロープレ大会等の受賞者などを協会 HP で発信
- (7)採用・定着・育成に資する寄稿の発信(例:人材支援企業によるアドバイスなど)

2. 第9回日本 SC 大賞、第7回地域貢献大賞の選考について

第9回日本 SC 大賞、第7回地域貢献大賞の選考について、下記のとおり選考時期を延期し、2023 年度に表彰を行うこととしたい。

(1)前提として

2020 年度は第9回日本 SC 大賞、第7回地域貢献大賞の選考年に当たる。

同賞は、業界の模範となる SC を広く顕彰することにより、消費者等に対する SC の評価を高めるとともに、会員の

励みともなっており、近年のように事業環境が厳しい時こそ、これを実施して明るい話題を提供する意義は小さくないと思われる。

しかし、その一方で年初からの新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、<u>会員の経営環境の困難度が増し、また集客イベントや集客施設に対する一般の受け止めが消極化しているという特殊な状況下で、同賞の選考を進める</u>ことについては慎重な配慮が必要と思われる。

また、同賞の選考は会員の協力によって行われており、ことに9月~11 月にかけては支部での作業が多く、<u>選考</u>に関わる会員の負担は小さくない。

(2) 第9回日本 SC 大賞、第7回地域貢献大賞の選考について

同賞の選考の当たっては、該当<u>SCが集客性に優れていることが暗黙の前提になっていると思われるが、少なくともこのような点に目が厳しい 2020 年度については、選考を見合わせて、次の表彰年となる協会 50 周年に当たる2023 年に向けて、準備を行っていきたいと考える。なお、東日本大震災のあった 2011 年度は選考を見合わせた例がある。</u>

併せて、同賞の仕組みについては、かねてより、新規オープンSCがあまりない地域(支部)にとっては、「選考作業の労多くしてメリットが少ないのではないか」「SCの形態や地域の事情が多様化している中で全国一律の尺度での選考には無理を伴う場合もあるのではないか」といった指摘や他の課題もありうることから、準備期間に<u>点検を行った上で、2023年度に表彰を行うこととしたい。</u>

(3) 選考スケジュール案(主なもの)

2021 年度より準備を始め、2022 年度に選考を行い、協会 50 周年となる 2023 年 5 月の定期総会において、 受賞SCの表彰を行う。

247 - 1470			
	主な取組み		
2021年度 検討委員会を設置し、本賞の在り方を検討の上、改善すべき点があればその仕組みや選択			
(準備期間) 準等の改善案を年度内に取りまとめる。			
2022 年度	年度当初の理事会に改善案を諮り承認が得られれば、これに基づいて具体の授賞候補案を選		
	定する <u>選考委員会</u> を設置して、選考作業を進める。		
2023 年度	年度当初の理事会に授賞候補案を諮り、授賞者を決定し、定期総会で表彰する。		
(協会 50 周年)	十及ヨがが任事云に汉貝医佃采を設り、汉貝有を伏足し、足規総云で衣軫りる。 		

【参考】「第8回日本SC大賞·第6回地域貢献大賞」受賞SC一覧

①第8回日本SC大賞

金 賞	二子玉川ライズ・ショッピングセンター
銀賞	ルクア/ルクアイーレ
銅 賞 / ES賞	JRタワー(アピア・エスタ・パセオ・札幌ステラプレイス)
ニューフェイス賞	GINZA SIX
リノベーション賞	ニッケパークタウン
ES 賞	新静岡セノバ
特別賞	南三陸さんさん商店街

②第6回地域貢献大賞

地城貢献大賞(倉橋良雄賞)	ポップタウン住道オペラパーク
	赤れんがテラス
	イオンモール天童
바라중심교	南砂町ショッピングセンターSUNAMO
地域貢献賞	ラスカ熱海
	イオンモール倉敷
	鳥栖プレミアム・アウトレット

2. 公共政策•環境委員会

1. 2020年度 基本方針

公共政策・環境委員会は、SC業界に関わる公共政策や環境問題を対象として、官公庁等に対する各種要望・提言を行う他、官公庁等から要請のあった事項またはSC業界において重要と考え得る事項について、官公庁等との連携・協力を含めた幅広い活動を行う。

活動においてはSDGsを参考に、持続可能な社会の実現に向けたまちづくり・地域貢献・災害対策等の取り組みについても継続的に推進する。

2020年度は前年度から引き続き、SCにおける災害対策及び感染症対策について取り組む。その他法律・制度改正や各種施策等についても、喫緊の事項を中心に情報収集と会員へのタイムリーかつ有益な情報提供に努める。

継続して、次年度に向けた実効性のある法律・制度改正の要望を行う他、地域貢献や環境問題の一環としてフォローアップ調査・地域生活者と協働した取り組みへの協力等も実施する。

また委員会の再編を受けて、インバウンドに関する取り組みも引き続き推進する。

2. 事業計画(骨子)

(1)公共政策に関する情報収集と各種要望・周知活動

基礎的活動として、官公庁等の委員会参加や直接的な連携を通じて幅広く情報を収集。活動の中で必要に応じた要望・提言を行う他、説明会やHP・月刊誌等による会員への情報提供に努める。2020年度の主な事案としてインボイス制度・マイナポイント事業等を予定しつつ、随時発生する事案に対し対応して行く。また2021年度に向けた税制・制度改正の要望書を提出する。

(2)SCの災害対策に関する取り組み

引き続き今後の税制等改正要望の具体化等に向け、他団体と連携した取り組みを推進する。また災害時に 重要となるBCP(事業継続計画)についての研究に着手する。

(3) 感染症に関する取り組み

引き続き官公庁等または会員からの情報収集を行い、感染症に関する迅速な情報発信を行う。また必要に応じてガイドラインの見直し等について検討する。

(4) インバウンドに関する取り組み

地方への拡大促進を含めた各種インバウンド対応について、官公庁と連携した情報収集やキャンペーン等への協力を行うと共に、会員への情報発信を行う。

(5)その他の取り組み

地域貢献ガイドラインのフォローアップ調査を実施し、SC業界における地域貢献の現状や具体的事例についての情報発信を行う。また継続してクールシェア・ウォームシェアに協力する。なお、低炭素社会実行計画フォローアップ調査においては前身である自主行動計画から10年以上が経過する本計画の実効性ついて確認する。

3. 人材育成委員会

1. 2020年度 基本方針

2020中期運営計画(2020~2023年度)のスタート年度にあたる2020年度は、引き続きSCを取り巻く厳しい環境の中、いつの時代にも必要なベーシックなセミナーを提供するとともに、新型コロナウイルスの感染症が拡大するなど変化する経営環境の中で、SC業界の新時代を見据え、今後のSCの方向性を考えるヒントとなるような内容を提供していく。

併せて、首都圏以外の会員への受講機会拡大を目指すICTを活用したWEBセミナーは新たな取組みを含め一層の拡充を図っていく。

また、SC経営士試験実行委員会は、人材育成委員会とより密接な連携を図りながら、円滑に試験関連事業を推進していく。

【重点施策】

- ① 「セミナー」は、ベーシックな基本セミナーと共に、新しい時代への対応、人材確保等 SC 業界の重点テーマを取り上げるとともに、感染症防止の意味からも、ICT 活用による遠隔セミナーの拡充を図り、年間 48 本実施する。
- ② 「海外研修」は最新 SC や専門店、まちづくりなど注目される都市を選定するとともに、目的、テーマを明確にし、米国 2 本、欧州 1 本に、新たな中国を加えた 4 本を催行する。
- ③「SC アカデミー」は、第14期では「SC 序論(合宿研修)」「SC 総論 I」「SC 総論 II」「SC 経営実践論」「特別演習」等の各カリキュラムの内容及び運営方法の見直しを図り、実施する。
- ④ 「冠講座」「SC 経営士資格更新講習」については、SC 経営士会の協力のもと、新たな視点を加味し、円滑な運営を図る。
- ⑤「SC 経営士試験」については、内容の一層の充実を図る。

2. 事業計画(骨子)

(1)セミナー

・現プログラムの深耕化の推進

本2年間は、特に新たな時代潮流を考慮した新企画としての新時代対応シリーズ他、新しい内容のセミナーを実施してきたが、本年度はセミナー全体を見直し、以下の4点を重点施策として、さらなる内容のブラッシュアップを図る。

- 1)SC業界が昨今抱える課題をテーマに実施
- 2)ICT活用による遠隔セミナーの拡充
- 3)テナント企業向けセミナーの充実
- 4) 既存セミナーの精査・充実

なお、セミナー開催にあたっては会員企業の課題解決の場であるとともに、ネットワークを広げる交流の場となるように意識する。

1)SC業界が昨今抱える課題をテーマに実施

~新時代対応シリーズの一層の充実~

2018年度に新たに導入した新時代対応シリーズセミナーについては、時代の変化を考慮し、また参加者の声を参考にテーマの整理と、プログラムの再構築により、一層の充実を図る。

・『AI、IoT、ロボティクス活用セミナー』

幅広くニューテクノロジー全般の動向をとらえたテーマとし、名称も『新時代対応シリーズ① ニューテクノロジー活用セミナー』とする。

・『新時代対応型SC戦略セミナー』

「新時代対応型SC戦略セミナー」は時代の趨勢を反映した出店、リニューアルに関する事例を中心としたセミナーであるが、「SCリニューアルセミナー」も同様な意図で企画されており、また「SC新規出店・リニューアルに向けたマーケット分析手法」も出店、リニューアルの際の基本として実施されているものであるため、内容の類似性が高いことから集約して『新時代対応シリーズ⑥ 新時代対応型SC戦略(出店・リニューアル他)セミナー』とする。

・『ECとリアルの融合から考えるSCの未来セミナー』

参加者の声を反映し、アマゾン、楽天等の異業種の動向を加味したプログラム構成に再構築する。

・『新視点のマーケティング戦略セミナー』

SC業界以外にも視野を広げ、幅広い視点から特徴化戦略の核となる今後のマーケティングについて考察する。

・『人手不足問題対策セミナー』

人手不足問題への直接的なアプローチに加え、ESの向上、モラールアップ、社員の育成及び生産性の向上等、様々な観点からの考察を加味したプログラムに再編する。

・『SDGsセミナー』

新企画として、「SDGs」をテーマにし、災害、地域連携、環境、まちづくりへの対応等、SC関係者の関心が高い要素を取り入れたセミナーとする。

2)ICT活用による遠隔セミナーの拡充

デバイス活用セミナー、映像を活用した東西同時開催のサテライト型セミナーとあわせ、感染症対応などリスク管理の観点から東京で収録したセミナーを地方で開催するセミナーの実験的実施等、東京会場に参加しにくい会員へのサービス拡充を図り、2020中期運営計画期間中において受講者数の倍増を目指す。

(本年度実施検討セミナー)

デバイス活用セミナー

上期:『新入社員向けフレッシャーズセミナー』

下期:『多様化するクレームへの対応セミナー』

・サテライト型セミナー

上期:『SC施設管理セミナー』

下期:『SC契約実務対策セミナー』

・映像活用による地方開催セミナー

今後1~2本検討

※その他検討セミナー:新時代対応シリーズ⑤『キャッシュレスセミナー』、法律関連セミナー

3)テナント企業向けセミナーの充実

テナント企業向けセミナーは通常セミナーと比べ参加者数は多くはないが、満足度は高く、本年度は下記3本をテナント会員企業の方に多くご参加いただけるよう内容の充実を図り、 継続実施する。

- 『テナント向け法律セミナー』
- ・『ショップ営業力強化セミナー』

・『多様化するクレームへの対応セミナー』

また、時間的制約のあるテナント従業員に向け、比較的に時間的裁量が可能なWEBセミナーの拡充を検討する。

- ・『ショップ営業力強化セミナー』
- ・『多様化するクレームへの対応セミナー』

4) 既存セミナーの精査・充実

SC運営・開発業務の基本、並びにステップアップのための講座内容の精査と充実を図ると共に、既存セミナーの見直しを行う。

・『顧客情報活用セミナー』

時代の趨勢を鑑み、顧客情報を含めた広くマーケティングデータの活用をテーマとした『データマーケティングセミナー』に変更する。

· 『SC視察・交流セミナー』

「SC視察・交流セミナー」は新規出店の状況を判断しながら、上期1本、下期1本を基本とする。

5)その他

セミナーのプログラムについては、随時見直しを行いながら、時代にタイムリーな内容へ柔軟な対応を図る。

また、新型コロナウイルス感染症による影響も勘案した上で、セミナーのWEB配信についても適宜検討する。

2020 年度セミナー年間カリキュラム

番号	2020 年度セミナー年间カリキュフム					
	日付 4日16日	曜日	セミナータイトル	開催地	分類 C	分野 =+\411 2\42*
2	4月16日	木	テナントミックス・リーシングセミナー SC基本管理運営セミナー	東京東京東京		テナントリーシング
3	5月8日	火·水	4~5月のセミナーは延期		A	管理運営全般
4		金	ナナント向け法律でミナー			契約·法律
5	5月20日	水	C出店契約書作成セミナー ・新時代対応シリーズ①~ニューテクノロジー活用セミナー(Al、loT、ロボティクス等)		A C	契約·法律 事業戦略
6		木		東京		
7	5月28日	木	SC販促イベントセミナー	東京	С	販売促進
8	6月11日	木	テナント営業管理担当者ステップアップを目指す第1回	東京	ВВ	テナング営業
	6月12日	金	テナント営業管理担当者ステップアップを目指す第2回	東京		テナン営業
9	6月18日	木	新入社員向けフレッシャーズセミナー	東京	A	管理運営全般
10	6月24日	水	SC事業戦略セミナー	東京	D	事業戦略
11	7月2日	木	リーシング担当者ステップアップを目指す第1回	東京	В	テナントリーシング
12	7月3日	金	リーシング担当者ステップアップを目指す第2回	東京	В _	テナントリーシング
13	7月9日・10日	木・金	SC緑陰トップフォーラム	箱根	E	経営戦略
14	7月16日	木	SC法律セミナー	東京	С	契約·法律
15	8月19日	水	SC運営の基礎知識を学ぶ 第1回「SC管理運営の基礎知識」	東京	Α	管理運営全般
16	8月20日	木	~新時代対応シリーズ②~ECとリアルの融合から考えるSCの未来セミナー	東京	D	事業戦略
17	8月25日	火	海外SCおよび流通を学ぶ最新情報セミナー~中国編~	東京	С	その他
18	8月26日	水	SC運営の基礎知識を学ぶ 第2回「SCテナント営業管理の基礎知識」	東京	Α	テナン・営業
19	8月27日	木	〜新時代対応シリーズ③〜 人手不足問題対策セミナー(1)	東京	С	事業戦略
20	8月28日	金	SC施設管理セミナー	東京	С	その他
21	9月2日	水	SC運営の基礎知識を学ぶ 第3回「SC販売促進の基礎知識」	東京	Α	販売促進
22	9月9日	水	SC運営の基礎知識を学ぶ 第4回「SCテナントミックス、リーシンク、出店契約の基礎知識」	東京	Α	テナントリーシンク゛
23	9月11日	金	~新時代対応シリーズ④~ 新視点のマーケティング戦略セミナー	東京	D	事業戦略
24	9月16日	水	C運営の基礎知識を学ぶ 第5回「SCテナント更新、リニューアルの基礎知識」		Α	開発・リニューアル
25	9月23日	水	~新時代対応シリーズ⑤~ キャッシュレスセミナー(その他トピックスの可能性も有)	東京	С	その他
26	9月24日	木	データマーケティングセミナー	東京	С	販売促進
27	9月28日	月	SC視察·交流セミナー	東京	С	その他
28	10月13日	火	~新時代対応シリーズ⑥~ SDGsセミナー	東京	С	その他
29	10月21日	水	SCクレーム対策セミナー	東京	С	その他
30	10月23日	金	SC契約セミナー	大阪	С	契約·法律
31	11月5日	木	SC秋晴れトップフォーラム	東京	Е	経営戦略
32	11月18日	水	ショップ営業力強化セミナー	東京	С	ショップ関連
33	11月19日・20日	木·金	SC基本開発セミナー	東京	Α	開発・リニューアル
34	11月26日	木	危機管理対策セミナー	東京	С	その他
35	12月2日	水	~新時代対応シリーズ⑦~ 新時代対応型SC戦略(出店・リニューアル他)セミナー	東京	С	事業戦略
36	12月3日	木	SCにおけるテナント従業員教育セミナー	東京	С	テナン・営業
37	12月8日	火	まちづくり・地域活性化セミナー	東京	С	その他
38	12月9日	水	海外SCおよび流通を学ぶ最新情報セミナー〜米国編〜	東京	С	その他
39	2月3日	水	多様化するクレームへの対応セミナー	東京	Α	ショップ関連
40	2月10日	水	プロモーション担当者ステップアップを目指す第1回	東京	В	販売促進
41	2月11日	木	プロモーション担当者ステップアップを目指す第2回	東京	В	販売促進
42	2月18日・19日	木·金	SC基本管理運営セミナー		Α	管理運営全般
43	3月5日	金	ー・・ーーーー 〜新時代対応シリーズ®〜 人手不足問題対策セミナー(2)		С	事業戦略
44	3月10日	水			С	その他
45	3月11日	木	飲食・食品ゾーン活性化セミナー		С	その他
46	3月19日	金	飲食・食品ゾーン活性化セミナー 東京 C SC視察・交流セミナー 未定 C		その他	
47	3月23日	火	海外SCおよび流通を学ぶ最新情報セミナー~アジア編~	東京	С	その他
48	3月25日	木	SC契約実務対策セミナー	東京	С	契約·法律
*<階			I State Survivors II Survivor			

(2)海外研修

「海外研修」は、米国 2 本(東海岸、西海岸の各 1 本)と欧州 1 本、中国 1 本の計 4 本を催行する。米国では代表的な SC からトレンドを捉えた専門店やリニューアルの事例を、また、欧州では最新 SC や特徴のある SC の視察に加えまちづくりなどを、また中国は著しく進展するテクノロジーの活用を中心とする視察など、目的、テーマを明確にしたツアーにする。

- ・米国初心者・初級者向け、米国を代表する SC からトレンドを捉えた SC を視る「米国西海岸」
- ・話題性があり、かつテクノロジー活用事例など視察できる、注目度の高い「米国東海岸」
- ・欧州における注目の SC を視て、まちづくりおける SC の役割を考察する「欧州」
- ・SC 及び専門店等、テクノロジーを活用した店舗展開、店舗運営の実態を学ぶ「中国」以上を踏まえ、2020年度は以下の通り催行する(*実施時期については検討中)。

実施時期	訪問先	テーマ
2020年6月	欧州 ※延期	注目SCやまちづくりにおけるSCの役割の考察
9月	米国東海岸 ※延期 (ニューヨーク他)	話題のSCやテクノロジーを活用したSCや専門店の視察
11月	中国	最新テクノロジーを活用したSCや専門店の考察
2021年2月	米国西海岸 (ロサンゼルス他)	米国の代表的なSCやトレンドを捉えたSC、専門店の視察(入門編)

※各方面については、治安や感染症の流行などの状況を勘案の上、催行を検討する。

(3)通信教育

- 1)主に新入社員や入社(SC業務歴)5年以内の方、基本を再確認したい方々を主な対象として、SC開発及びSC管理運営の基本を学ぶことができるプログラムとする。
- 2)テキストやレポートの特色などを受講者募集パンフレットでわかりやすく伝え、SC経営士試験受験者を含めてSCについて学習をしたい方々に紹介する。
- 3)2022年度の改訂を目指した推進体制及びスケジュールを検討する。

(4)SC テナントスタッフハンドブック

- 1)「SC 接客マイスター筆記試験」の参考図書として告知を強化し、販売数増加に努める。
- 2)ディベロッパーの新人向けに、テナントとのコミュニケーションツールとして薦める。
- 3)2020年度に一部改訂を実施する。

(5)サポート関連(研修講師派遣)

(6)SC アカデミー

- 1)2020年度に第14期目を迎え、WGグループからの提案を基本として、講義内容や方法をよりアップデートなものとする。
- 2)第14期では第13期で実施した「SC序論(合宿研修)」、「SC総論 I 」、「SC総論 II 」、「SC経営実践論」、「特別演習」を継続する。
- 3) 各カリキュラムの内容及び運営方法を見直し、実施。
- 4) ゼミ形式を継続し、少人数でのディスカッション、卒論指導などを実施する。
- 5)15年目に向けてカリキュラムの再検討を行う。
- 6)2021年度に大阪における合宿研修実施を検討する。

(7) 冠講座

SC経営士会との連携のもと、年間2校を実施する。

前期…流通科学大学 ※新型コロナウイルスの影響により中止。

後期…東京電機大学大学院

(8)SC経営士更新講習

- 1) 登録更新について
- ・登録更新の講習対象者140名
- ・講習は大阪と東京にて開催する。

(登録更新人数の増加に伴い、東京での開催回数について、複数回開催を検討)

- ・講習の内容については、SC経営士会が企画・立案を行う。
- 2)2021年度以降の登録更新について
 - ・2021年以降の登録更新の人数 2021年度

2022年度 117名 2023年度 133名

3)登録更新料の変更について

2019年度より、SC経営士会の全面的協力により、更新内容の企画運営に関し、SC経営士会の研鑽・研究グループが中心となり実施しており、従前の外部講師への依頼が不要となり、併せて、協会主催の交流会も検討が望ましいとの声もあり、登録更新料を、15,000円(税別)から9,000円(税別)に変更する。

99名

(9)SC経営士試験関連について

第29期(2020年度)SC経営士試験について

一次試験問題作成については、2019年度より事務局が大枠のガイドライン作成等、従来に比し、積極的にかかわりを持ったが、本年度はより体系的に試験項目案を作成する等、内容の充実を図る。

2019年度より二次試験不合格者への面接官及び事務局からのフィードバックをスタートしたが、本年度は多面的な検討を加え、より適確なフィードバックを推進する。

(10)2020年度緑陰トップフォーラムについて

日時:2020年7月9日(木)~10日(金)

会場:ザ・プリンス箱根芦ノ湖

内容:2020年7月9日(木)

- 会長挨拶
- ·記念講演 I

『プラチナ社会へのイノベーション ~2050 年の世界と企業のあり方を考える~』 株式会社三菱総合研究所 理事長 小宮山 宏 氏

・記念講演Ⅱ

『観光地箱根とリゾートホテル経営』

富士屋ホテル株式会社 代表取締役社長 勝俣 伸 氏

•懇親会

2020年7月10日(金)

・ゴルフ(大箱根 CC)/視察

4. 情報委員会

1. 2020年度 基本方針

情報委員会は月刊誌「SC JAPAN TODAY」の発行、協会ホームページ、広報などを管轄する委員会であり、SC 業界・協会の情報発信の中心的な役割を担っている。

特に月刊誌においては、2019年度はSDGs、消費増税、外国人材といったSCの新潮流や課題に焦点をあて、SC業界、会員のヒントになるような情報の発信を行なってきた。

2020年度は、月刊誌において①SDGs、②人材確保対策、③消費動向、④技術革新・IT活用、⑤緊急時対応の5軸に、これまで以上に時流を捉えかつ会員に役立つ情報の発信に努めていくものとする。

また、会員満足度の一層の向上を図るべく、会員のビジネス機会拡充に向けた会員情報の発信強化、会員・マスコミに向けた協会情報の積極的発信、新型コロナウイルス対策など緊急対応を要する情報の迅速な発信などに取組んでいく。

2. 事業計画(骨子)

(1) 時流を捉え5軸を基準とした会員に役立つ月刊誌の発行 「SC JAPAN TODAY」は、特集年間軸の5軸(*)を基準に、事例を多く、また各現場での具体的な案件を 掲載する。

*5軸:SDGs、人材確保対策、消費動向、技術革新·IT活用、緊急時対応

(2)会員情報の発信強化

協会の各種媒体を活用し、会員のビジネス機会拡充に向けた会員情報の発信を強化

- ・会員企業の情報発信拡大(月刊誌・WEBなど)
- ・新会員の紹介(月刊誌・WEBなど)
- (3)会員及びマスコミに向けた協会情報の積極的発信

5. 新·調査研究委員会(仮称)

1. 2020 年度 基本方針

委員会の再編を受けて、新・調査研究委員会(仮称)では、「国内外SC及び流通全般にわたる調査及び実情把握、提供」と「経営支援情報等、当面の課題に対する調査研究」を軸に、いっそう活発に活動していく。

そのような中で SC 業界は、少子高齢化によるマーケットの変化、深刻化する人手不足、テクノロジーの進展による EC の伸張やライフスタイルの変化、グローバル化など社会環境の変化に取り組むとともに、地域や社会への貢献もこれまで以上に求められている。それらの状況を踏まえて、以下を基本方針として掲げる。

- (1) 国内 SC の調査としては、販売動向(「SC販売統計調査」等)や賃料・共益費に関する調査、新規開発 SC 等の情報収集・発信を継続して実施
- (2) 国外 SC の調査については、『SC 白書』内での情報発信に加えて、従来よりも高頻度で海外 SC 情報を 会員へ提供
- (3) SC が直面する課題として、人手不足や新型コロナウイルスへの対応等、喫緊の課題に関する調査を実施する。
- (4) 国際会議の出席、海外の SC 協会の日本視察対応などの国際交流を行う。
- (5) 上記調査の結果について、会員、マスメディアへの周知拡大をおこなう。

2. 事業計画(骨子)

(1) SC 販売統計調査

統計調査は、月次、四半期、上半期、下半期、年間調査を実施するとともに、年末年始の販売動向調査を 行う。また、精度向上のためサンプル数の増加に取り組む。

(2) SC 賃料·共益費実熊調査 2020

契約形態別(個別徴収、総合賃料・賃料名目一本化)にて、月坪賃料、月坪共益費、総合賃料を調査してきたが、2019年度の調査結果を受けて、サンプル数の強化が必要な立地等のサンプル数増加を目指す。

- (3) SC オープン、計画情報および SC 基礎データー覧の更新 SC の新規オープン情報に加えて、会員に向けて SC の開発計画(月次)ならびに全国の SC の基礎情報 (年1回・6月)を発信する。
- (4) SC 白書 2020 の発刊

国内外の SC 業界の 2019 年の動向を記載し、5月27日の定期総会時に発刊する。 なお、2020年版より協会HPを通じて公開し利便性向上を図るとともに、SC業界の動向を広く周知する。

(5) 人手不足等、SC が抱える課題に関する調査

SC が抱える課題に関する調査として、2015 年度から開始した「人材確保に関する定量調査(ディベロッパー、テナント)」について、人材確保対策特別委員会と連携して調査内容の精査、絞り込みをおこなったうえで、継続して調査を実施する。また、2020 年度は他の委員会と連携し、新型コロナウイルスへの対応や影響、テクノロジーの導入状況等に関する調査を実施する。

(6) 国際交流

APRC などの国際会議において、アジア各国の SC 団体との交流を通じて情報収集する。また、海外の SC 協会等の日本へのスタディーツアーの際には協力するとともに、相互交流を進めていく。

(7) 調査結果の周知の拡大

調査結果の概要の月刊誌への掲載や、「SC白書 2020」の協会 HP での公開、定例記者懇談会やプレスリリースの配信などを通じて会員、マスメディアへの周知の拡大を図る。

6. 全国大会実行委員会

※SCビジネスフェア2021は、新型コロナウイルス拡大の影響を受けて、計画を変更する場合があります。

1. 2020 年度 基本方針

- (1) SCビジネスフェア2021では、会場面積の拡大(1.3 倍の 16,700 ㎡)にともなって、新たなテーマを掲げ、 未来志向で取組みを刷新する。
- (2) 将来を見据え、今ある問題の解決だけでなく、当事者がまだ気付いていないような問題を発見し、指摘することで、SC業界の持続的成長に寄与する。
- (3) セミナーでは聴講者のニーズに即したラインナップ等により一層の活性化を進める。
- (4) 交流や商談機会の場として一層の活用がなされるよう、新たな出展企業の積極的な発掘やマッチングを強化する。
- (5) 先端テクノロジーの紹介や危機管理など時代ニーズに応える SC の課題をテーマに、訴求点を明確にした 特別ゾーンを設置するなど、さまざまの角度からさらなる充実を図る。

2. 事業計画(骨子)

(1) 第45回日本ショッピングセンター全国大会概要

会 期 2021年1月27日(水)~29日(金)

会 場 パシフィコ横浜

参加者 会員を中心としたSCディベロッパー、テナント、サポート企業、官庁、関連団体、学生

主 催 (一社)日本ショッピングセンター協会

後 援 経済産業省、国土交通省、農林水産省、横浜市、日本経済新聞社、繊研新聞社、 産業タイムズ社(順不同)

協 賛 日本商工会議所、<u>横浜商工会議所(新規依頼予定)</u>、日本小売業協会、全国商工会連合会、日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、(一社)日本専門店協会、(一社)日本フランチャイズチェーン協会、(一社)新日本スーパーマーケット協会、(一社)日本ボランタリーチェーン協会、日本スーパーマーケット協会、(一社)日本フードサービス協会、日本チェーンドラッグストア協会、全国地下街連合会、(一社)不動産協会、(一社)日本ビルヂング協会連合会、全国商店街振興組合連合会、協同組合連合会日本専門店会連盟、(公社)商業施設技術者・団体連合会、(一社)日本商環境設計家協会、(一財)流通システム開発センター、(一社)再開発コーディネーター協会 (順不同)

特別協賛 数社(SC協会会員企業、SCビジネスフェア出展者、シンポジウム・セミナー登壇企業等)

●SCビジネスフェア2021

(SCビジネスフェア、セミナー)

会期 2021年1月27日(水)~29日(金)

会場 展示ホールB・C・D、アネックスホールメモ SCビジネスフェア2021は、展示ホールB・C・Dに会場を移し、面積を3,400㎡拡大し、16,700㎡の会場面積で開催する。多彩な企業がブースを構えるSC業界唯一の商談展示会。発見マルシェ、学生向けSC業界研究イベントを併催。アネックスホールでは有料セミナー、懇親パーティーを、展示ホールにて無料セミナーを開催。初日にはオープニングテープカット、2日目には出展者交流パーティーを開く。

●第26回SC接客ロールプレイングコンテスト全国大会

会期 2021年1月29日(金)

会場 パシフィコ横浜 ノース

メモ 支部大会を勝ち抜いた接客のスペシャリストが集い、"SC接客 日本一"を決定するSC業界テナントスタッフ対象のロールプレイン グコンテスト。大賞受賞者には経済産業大臣賞が贈られる(予定)。

(2)SCビジネスフェア2021として、新たなテーマを設定

増床を機に、第45回日本ショッピングセンター全国大会(45th JCSC National Convention)の各種コンテンツの展開につながる新たなテーマとして、下記のとおり設定する。

SC BUSINESS FAIR 2021

~ 出会い、発見、チャンス、そして未来へ。 ~ 「リアルは楽しい!」 「テクノロジーでリアルは変わる」 「 S C の危機管理」

(3)セミナー(有料・無料)受講者数の更なる増加

- ○セミナーの質が日本SC全国大会全体の価値を高める。従って、よりタイムリーなテーマ設定、講師を選定するとともに、課題である2日目においても、核となる講師を招き、受講者数の増加を図る。
- ○講座数については、前回同様の7講演を予定。
- ○具体的な取り組みとして
 - 1) SC協会ならびにシンポジウム・セミナーのコンセプトである「研鑽と交流」を目的に、**参加しやすい有料セミナー・懇親パーティーの参加形態および参加料の設定**を行う。
 - 2) 有料セミナープログラムについて、前回と同様に時代に合ったタイムリーな内容を軸に考える。
 - 3) 併せて、昨今のSCを取り巻く環境、情勢を踏まえ、求められるニーズが非常に多様化していることを受け、SC業界のみならず、幅広い業界に目を向けた講演内容、講師を検討する。
 - 4) それらの具現化を行うために、講師交渉、セミナー運営も含めたアウトソーシングも引き続き実施。
 - 5) SCビジネスフェア会場内で実施する無料セミナーについては、出展者プレゼンテーションと主催者企画の二本立てとするが、夫々において、SC業界における喫緊の課題、SCを取り巻く環境変化等、聴講者の主となるSC関係者の興味関心が高いテーマを設定する。
- 6) 紙面、デジタルでの広告募集、会場での告知媒体において、従来のものに加えて、**新たな視点での検 討**も行う。

(4)「発見マルシェ」と「SC Tech Forum」の拡充

○「発見マルシェ」を、40社・50小間に拡大(前回25社・40小間)を目指すとともに3日間設置し、会場内の位

置も見直す。併せて、従来の延長線上にない、次のSCテナント候補になる事業者を誘致する。また、出展者に協力を依頼するなどして、賑わいや楽しさの創出を図る。

○「SC Tech Forum」は初回の結果を検証して企画段階からさらに手を加え、発見マルシェ同様に拡充し、 Tech系出展者の大幅な増加を目指す。その中でテクノロジーを活用するテナント企業とのコラボレーションも検討する。なお、中期運営計画では、新技術の紹介やその評価及び導入に伴う課題などについて 取り組むために新委員会の設置を予定しており、この組織との連携も視野に入れる。

(5) 出展者増、来場者増につなげる各種施策の推進

- ○出展募集においては、通常小間で前回から約50小間増の550小間を達成するため、各種施策を企画し、 実施する。
- ○とりわけ、**ビジネスマッチングの環境整備**に注力し、マッチングシステム活用の周知、**交流コーナーの拡充**、あるいは**新規出展者**については事務局員が同行して他の出展ブースを回るなどの**サポート**を行う。こうした取り組みにより、交流・商談の促進を図る。
- ○課題のテナントの出展募集については、前記の**発見マルシェの拡充**とともに、通常小間では**インキュベート出展を積極的に推し進める**。
- ○来場者募集においても、上記のように出展者とのビジネスマッチングの環境整備を行い、それをアピールする。引き続き、業界を中心としたマス広告の実施を検討するとともに、知り合いの方の紹介依頼を強化するなどして、両輪で来場者募集に取り組む。

(6) 海外ディベロッパー企業・団体の出展あるいはプレゼン誘致の施策を検討、実施する

○国内の人口が減少していく中、**将来に向けてマーケットの拡大**につなげるためには、**グローバルな取り組み**として、引き続き、**海外ディベロッパー企業・団体の出展あるいはプレゼン誘致の施策**を検討、実施するとともに、内容のブラッシュアップを図る。

(7) 特別協賛の見直し

- ○特別協賛は、SCBF2019の2社(楽天、東日本旅客鉄道/敬称略)から、SCBF2020では5社(東日本旅客 鉄道、東急グループ、ルミネ、KDDI、楽天ペイメント/敬称略)に増えた。
- ○一方で、この特別協賛については、従来からの公式ガイドブック等の広告と混在しており、企業にとって検 討しにくいものとなっていた。そこで、今回はヒアリング等を行ってメニュー等を見直し、募集を始める。

(8) SC業界研究イベントの方向性の検討

○就活サイクルが大きく変化し、来場学生数の維持・拡大の困難度が増している中、**参加企業・学生の満足度向上をよりいっそう図る**ため、**イベント実施方法や出展料の見直し等の検討**を行う。

7. 接客ロールプレイングコンテスト実行委員会

※SC 接客ロールプレイングコンテストは、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、支部大会及び全国大会を中止させていただきます。

1. 2020 年度 基本方針

2020 年度は以下の 4 項目を重点実施項目として SC 接客ロールプレイングコンテスト及び SC 接客マイスターの施策を推進する。

(1) SC接客マイスターのブランディングの推進ー価値向上への取組みー

2020 年度中期運営計画に則り、2019 年度よりスタートした SC 接客マイスターの価値向上、ブランディングへの取組みを一層強力に推進する。

(2) SC接客ロールプレイングコンテストの円滑な運営

2019 年度よりスタートした各級の認定基準の見直し、審査ポイントの見直し等、新たな審査基準に則り、新基準の専門審査員への再徹底を行い、審査の平準化と円滑な運営を推進する。また、災害時における対応及び支部における運営体制等の改善を図る。

(3) ロールプレイングコンテスト事業の収支改善の着実な推進

2019年度よりスタートした収支改善を以下の施策を着実に実施し、ロールプレイングコンテスト事業の収支改善を図る。

- 関東甲信越大会、東北大会等の会場費の改善
- スポンサーシップの実施

(4) SC接客マイスター事業の収支改善の推進

SC 接客マイスター事業がスタートして 5 年を経過するが、当初より収支面においては構造的な赤字体質となっており、2020 年度中期運営計画の中で掲げているブランディングを推進する上でも抜本的な収支構造の改善が急務であり、経費削減、増収両面から改善に取組む。

2. 事業計画(骨子)

(1) SC 接客マイスターのブランディングの推進 ―価値向上への取組み―

SC接客マイスターの一層のブランディングを目指し各施策の取組みの拡充を図る。

1級マイスターの"輝"の発信

・SC 協会のホームページ他を活用し、本人の「接客に対する考え方」「常日頃、心がけていること」 等を発信し、1級マイスターのステータス感を訴求する。

魅力的な情報提供の強化(年間4回実施)

・マイスター全員に対し教育研修企業の講師より「接客についての考え方」、「接客技術の向上についてのアドバイス」等に関するメッセージの発信など、マイスター各人の今後の接客技術向上に

有益な情報を提供し、マイスターとしての特別感を訴求する。

(2) SC 接客ロールプレイングコンテストの円滑な運営

1) 支部大会

【日 程】

大 会 名	日 程	会 場	中込締切日	競技順・スケジュール 公表日
北海道大会	10月30日(金)	サンピアザ劇場	9月16日(水)	10月5日(月)
東北大会 (青森、岩手、宮城、秋田、山影、福島)	9月29日(火)・30日(水)	ホテルメトロポリタン仙台	8月14日(金)	9月3日(木)
関東・甲信越大会	9月1日(火)~4日(金) 9月7日(月)・8日(火)	ムープホール (ムープ町屋)	7月20日(月)	8月7日(金)
東京大会	10月5日(月)~9日(金)	ムーブホール (ムーブ町屋)	8月21日(金)	9月9日(水)
中部大会	11月4日(水)~6日(金)	名古屋市中小企業振興会館 メインホール	9月18日(金)	10月9日(金)
近畿大会	10月13日(火)~16日(金)	ホテル京阪京橋	9月1日(火)	9月17日(木)
中国・四国大会 (金老、金品、別品、英語、英語、英語、英語、英語、英語、英語、英語、英語、英語、英語、英語、英語、	11月25日(水)~27日(金)	広島YMCAホール	10月12日(月)	10月30日(金)
九州・沖縄大会 (福岡、北京、京島、東州、大会、京島、東州、大会、京島、東州、大会、京島、東州、大会、京島、東河等、	10月20日(火)~21日(水)	JR九州ホール (JR博多シティ)	9月4日(金)	9月24日(木)

- ※各会場ともに参加者数に応じて開催日数が変更になる場合があります。 また、「競技順・スケジュール公表日」は、前後する可能性がございます。
 - i 全国大会
 - ·開催日…2021年1月29日(金)(第45回日本SC全国大会3日目)
 - ・会場…パシフィコ横浜
 - ii 第 25 回大会 DVD 販売について 全国大会の競技記録 DVD を販売する。 価格・・・会員 8,800 円、会員外 13,200 円 目標販売枚数・・・250 枚

【各支部における審査体制】

2020 年度大会より「原則として支部運営委員」の枠を撤廃して、計5名体制での審査体制とする。

【災害時の競技者への対応】

2020 年度より災害時に不参加となった場合には来年度に出場できるよう、特例措置を講じる。 具体的には特別枠として、本来の 1SC の出場枠(3 名もしくは 2 名)とは別に枠を設ける。 また、競技者の安全面を考慮して開催を中止することも検討する。

(3) ロールプレイングコンテスト事業の収支改善の着実な推進

SC 接客ロールプレイングコンテスト事業の健全な収支構造確立に向け、以下の事業に取組む。

1)会場費の改善について

2019 年度より実施した会場費の見直しを引き続き着実に実施するとともに新たな改善に取組む。

- ・関東甲信越大会を「ムーブ町屋」にて開催。
- 東北大会の会場費削減等により改善。

【他地域の会場費の見直し】

・上記会場費の見直しと同様に、その他地域に関しても地区の協力を得ながら、順次見直しを進めていく。

2) スポンサーシップの実施

- ・ロールプレイングコンテスト開催地区の協力の下、地域の企業から特別協賛を募集する。
- ・支部大会の中で特に関東・甲信越大会、東京大会、中部大会において重点的にスポンサーシップを推進する。

(4) SC 接客マイスター事業の収支改善の推進

SC 接客マイスター事業の健全な収支構造確立に向け、以下の事業に取組む。

1) 経費の見直しについて

システム運用費を、業務内容の見直しおよび運営の構造改革等を行い削減。

2) 収入面の改善策について

システム運用費の削減と併せ、収入面での改善策を実施。 (受験料、認定料の増額)

≪収支改善≫上記合計:5,195(千円)

8. DX(デジタルトランスフォーメーション)委員会(仮称)

1. 2020年度 基本方針

デジタルテクノロジーは著しい進展を見せており、多くの分野でその活用の可能性が拡がっている。 購買行動の多様化や人手不足の深刻化等を背景に、さらには新型コロナウイルス終息後のライフスタイルの 変化等が予想さる中、SCがテクノロジーを効果的に活用していくことは、持続的成長のための重要なテーマとな る。

2020中期運営計画(2020~2023年度)基本方針の1つである、「SCの生産性や魅力の向上など店舗や施設 運営の改善に資するニューテクノロジーの実装化を支援する」、という方針を受けて、DX(デジタルトランスフォーメーション)委員会(仮称)を新たに設置する。

当委員会では、SC従業員の働きやすい業務改善や店舗の生産性向上など業界の持続的成長と、会員のビジネスに役立つ新技術の紹介やその評価及び導入に伴う課題などについて、研究に取組むとともに、アウトプットとして協会の媒体やSCビジネスフェア等を通じて情報の提供に努めていく。

2. 事業計画(骨子)

(1) 研究活動について

SC 従業員の働きやすさのための業務改善や店舗の生産性向上など業界の持続的成長と、賛助会員らのビジネスにも役立つテクノロジーの紹介や、その評価及び導入に伴う課題などについて研究する。

① 情報収集・整理

○テクノロジー全般の情報収集及び整理を行い、研究すべきテーマ(カテゴリー)を絞り込み、また、「お客様の満足度を高める取り組み」と「SC内の仕事の生産性を向上させる」といった視点から、優先順位をつけて取り組む。

[参考] デジタルマーケティング 省人化・無人化 キャッシュレス決済 インバウンド対応

- ○なお、大手の会員企業(DV、TN)だけでなく、単館DVや小規模TN企業が活用できるテクノロジーにも留意して、情報収集及び整理、絞り込みを行う。
- ② Tech 系企業及び導入企業のプレゼン・事例研究等
 - ○情報収集した中から、いくつかの Tech 系企業のプレゼンを委員会が中心となって行う。
 - ○それらの導入企業からの説明、また活用現場に訪問する等して事例研究を行う。
- ③ 実証実験(可能性の打診等)
 - ○最先端テクノロジー等は想定される効果や課題を整理し、可能ならば委員企業等で実証実験を行う。
- ④ 課題整理等
 - ○「②事例研究」や「③実証実験」を踏まえて課題等を整理し、普及あるいは実用化に向けた道筋を探る。

(2) 発信活動について

上記、「研究活動」に「発信活動」をリンクさせて相乗効果を上げていく。例えば、事例研究報告を月刊誌等で紹介したり、1月のSCビジネスフェアでの発信を行う。

【発信活動のイメージ】

研究活動	発信活動(イメージ)		
①情報収集•整理	○会員の Tech 企業などへの情報提供の依頼		
②Tech 企業のプレゼン・事例研究等	○Tech 企業の公開プレゼン		
	○同ピッチコンテスト		
	○事例研究結果を月刊誌等で発信		
	○SCビジネスフェアへの出展、セミナー依頼		
③実証実験(可能性の打診等)	○実証実験先の募集(協力依頼等)		

9. SC 経営士会

1. 2020年度 基本方針

2020年度は新生SC経営士会の活動がスタートして3年目を迎える。

2年間、SC経営士会の新たな体制を固め、活動の基盤づくりに努めた成果を生かして、2020年はSC業界の潮流変化に敏感に対応しつつ、各グループ及びブロックの活動を通じて、SC協会のシンクタンク的機能の充実に努めていく。

2. 事業計画(骨子)

上記の基本方針を受けて、「研鑽・研究」及び「業務・広報」グループ、各ブロックが、2020 年度も積極的に活動していく。

具体的な事業計画(骨子)については、次ページの「2020 年度 SC 経営士会活動スケジュール」に、グループ、ブロックごとに記載しているので、ご覧いただきたい。

なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、第 1 四半期(4 月~6 月)のイベント等については、延期となった。

1. 予定	
■:実施済み	
会 活動スケジュール(案)	
F度 SC経営士会 🤅	

140 中 140 日 14	4月 5月 5月 中旬	6月	0		2020年度 9月 10月	118	12目	<u> </u>	38	2021年度
	下旬 上旬		一	Го				Щ_		
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		下旬 上旬 中旬 下	下旬 上旬 中旬 下旬 上旬	-	下旬上旬	下旬上旬	上旬	下旬 上旬	下旬 上旬 F	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	□4/23第1回理事会	□4/28 第1回理事会(2020年集活動計画決定) □ 5/27 第48回來聯卷会(2020年度活動計画決定	020年度活動計画決定)			□ 第1回企画金議(2000年度上期事業報告)□ 10/23理事会(2020年度上期事	F業報告) 度上期事業報告)	口 1/27~29 第45	□ 第222mm会計 9 第45回日本SC全国大会	養(2021年度專業計画)
		□第1回幹事会□第1回幹事会□第1回上副会長会議	44		□第2回幹事会□第2回幹事会□第2回正副会長会議	10 86 11	□第3回幹事会 □第3回正副李長会議		□第4回幹事会	
			□夏の例会		□秋の例会	AH		ロ1月ゼネラルミーティン	□ 春の例 会ング(2021年度活動計画案発表)	
	*別金の企画支援 (東・秋・春) 麻様 ゲルーブ14 「シングタングの中のシングタングを目指す 「日曜 ヴァーー (7・グ)・ゲー・ベネ」「あり方」的なも	//2を目指す 	* 別会のは画文版 (章・秋・春) / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	力(等)	□登錄更新譯習会 (大阪9月·東京10~11月)	報				
					■ # # # # # # # # # # # # # # # # # # #				E .	
業務・広報グループ 重新済み	□会員募集(使・通期) □SO経営仕会ニュース THE OROLE	χ	□SC経営士会 ニュース THE GROLE	SSC THE C	□若手経営士交流会(仮) □SG経営士会ニュース THE GROLE	□SG経営士会ニュース THE GIRGE		UNCVAXAT # ##で27- USOビジネスフェア経常士会プロSO体 営士会チュース THE CROLE	でミナー(北面)連 士会ブース(企画・	善 (阪)
茅里雪屋	庭時開催/プロック運営会議・懇親会(年4回程度)	(回程度)	07月下旬之	ロ7月下旬プロック運営会議機報会	- -		□12月初旬プロック運営会議 業銀令		□3月初旬プロック運営会舗 書組令	
北海道プロック プロック活動 コ4月中	ロ4月中旬プロック運営会議	□5月下旬:セミナー・交流会	文第余 -	-		□10月下旬~11月下旬 S	SC道場(3隣座を1日で開催)		H &	
	□4月~3月 北星学園大学コラボ講座(年2回程度)	至(年2回程度)		□8月下旬勉強会					□2月中旬勉強会	
		□6月プロック連営会議機裁会					□12月プロック運営会議機報会			
東北プロック プロック プロック			□7月経営士勉強会	4H	1010	□10月 震災10年後の三陸値興視察 □ 10月 震災10年後の三陸値興視察	-			
	口4月中旬プロック運営会議		ロ7月上旬プロック運営会議		□9月中旬ブロック運営会議		□12月上旬プロック運営会議	-		
N. Tin 2017 プロック活動 関熱済み (1977年)	□5月14 新SC経緯	□5月14日あるいよ19日 巻SG衛和士教治イベント	口7月上旬 夏の例会企画			口11月中旬 秋の例会企画			□3月中旬 帯の倒金企画	
	配路/LS	諸路/ISC解世士祐(かか)テラス」:統世士職邸等 女弟余	十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	□夏のプロック交派会を第・を第・を第・	The state of the s	444		□冬のプロック交流会□プロック運営会議	な消失	
「一番新済み 一番新済み 一番 一番 一番 一番 一番 一番 一番 一	※検討中 通期/「プロック勉強会」					ロ10月~2月:プロックセミナー開催(1回)				
	ロ4月ブロック運営会議 内部研修、交流会	119日	□6月プロック運営会議 内部研修、新人教迎会	□8月ブロック運営会議 内部研修、交流会	月01日 内部	□10月プロック運営会議 内部研修、交託会		□1月プロック運営会議 内部研修、交流会		
近畿プロック プロック活動	□SC母児舎・準備SC交送金	口SC研究会・単値SO交流会タイプップ事業(SO研究会セミナー予定 5月 9月 2月	- 子定 5月 9月 2月 単酸SC交流会	· 李定 4月 7月 11月)	□外部講師セミナー					
		- 5	□第1回プロック運営会議			□第2回プロック機能会議 □ 1第2回プロック機能会議 □ 中国 回回支部会司政権会	500 000 000 000 000 000 000 000 000 000	□第3回プロック運営会議		□第4回プロック連営会議
中国・四国ブロック 更熱済み Welt	口斬SC種営士 Welcome交流会		- 養養後		# # #			日 機能	編10	□新SC経営士 Welcome交流会
		□第1回プロック運営会議				□第2回:	□第2回プロック運営会議			
プルペー子番のロック スロック治野				B	□研修会・觀視会				□ \$P\$ \$P\$ \$P\$ \$P\$ \$P\$ \$P\$ \$P\$ \$P\$ \$P\$ \$P	